

平成 26 年安芸高田市教育委員会会議

第 3 回臨時会

平成 27 年度使用小学校用教科用図書採択会議録
(概要)

平成 26 年 8 月 18 日
安芸高田市教育委員会

1 日 時 平成 26 年 8 月 18 日 (月) 午前 9 時 28 分から午後 2 時 3 分

2 会 場 クリスタルアージュ (安芸高田市民文化センター) 3 階 視聴覚室

3 出席委員 委員長 上田 隆之
委 員 天清 一亮
委 員 永岡 サヨ子
委 員 山本 博明
委 員 金川 佳寛
教育長 永井 初男

4 出席職員 学校教育課 課 長 児玉 晃
学校教育課 学校教育指導係 指導主事 岩見 文彦
教育総務課 総務係 係 長 上杉 浩二

〔一部公開〕

委員長 提出者から提案理由の説明を求めます。

教育長 詳しい内容につきましては、担当課長及び担当者から説明します。

— 国語 —

事務局 <選定委員会による答申を基に、担当者が教科ごとに説明する。>

【質疑意見】

委 員 現在の本市使用教科書と全国的に利用されている教科書はどちらですか。

事務局 現在は、本市は A 社を使用しています。説明した特色に加え、非常に定評のある文学作品教材が用いられています。A 社、B 社どちらも全国的にも多くの地域で採択されています。

委 員 A 社、B 社は同学年において分量に 12 ページ差があるが、このことについて選定委員会から何か報告がありましたか。

事務局 分量についてですが、ページの差によって、大きく学習内容に差があるという報告は受けていません。

委 員 A 社は、挿絵や文字の大きさによる視覚的な工夫がしてあり、単元の始めが分かりやすい。また、物語教材に特徴がある。活字の大きさとか字体とか、それは統一になっているのですか。

事務局 概ね文字の大きさは、教材中の文章の文字は、他の説明に比べれば大きく読みとれる工夫がされています。逆に教材をどのように学習していくかという解説になると文字が

イントが少し小さくなっています。どういう視点で読んだらいいかについて、A社は、赤枠を使って黒太字で示しています。最後のふりかえり場面になると、ふりかえりの視点について若干文字の大きさを変えたり、イラスト等も組み込んだりして、児童がとらえやすい工夫がされています。

委員 安芸高田市ではA社の教科書をこれまでも使ってきていますが、今回も選定委員会からも第1推薦であがってきています。

委員長 「国語」につきまして、第1推薦のA社を採択することにご異議はありませんか。異議なしと認め、「国語」についてはA社を採択する事に決定しました。

— 書写 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

委員 書写についても、A社とB社を比べてイラストの違いがあります。B社の国語の教科書にはローマ字が入っており、「書きましよう」とあります。A社は、ローマ字の表はあるが、「書きましよう」はありません。

委員 A社には、書写の方にもローマ字の書き込み学習が入っています。やはりこれが発行者が国語と違ってバラバラになるとどうしても統一性がとれないのではないですか。

委員 国語と書写の発行者が同じであれば使いやすいのでは、ということですね。

委員 書写の教科書の大きさの違いとしてB社は大きく、ひとつの特徴です。

書写だけではなく、保健も大きさが違います。

事務局 保健も教科書サイズが横だけ長い。縦はA4版になっています。そのことに係って、特に調査員からの報告はありませんでした。

委員 3年生から毛筆（書写）がはいるのですね。

事務局 1年生から書写はありますが、硬筆です。ローマ字の話もございましたが、今お持ちの3年生のA社34、35ページのところを見ただきますと硬筆の学習があります、部分の組み立てについて30ページのように学習します。漢字等についても硬筆で扱っています。

委員 書写の学習は、全学年で行っているのでしょうか。3年生から、毛筆を取り扱うということですか。時間割では書写を別に作らないのですか。

事務局 全学年実施しています。国語科として「書写」を年間でいえば30時間程度扱うことになっています。

委員長 「書写」につきまして、第1推薦A社を採択することにご異議はありませんか。異議なしと認め、「書写」についてはA社を採択することに決定しました。

— 社会 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

- 委員
事務局 C社がA社へ統合したのですか。
以前、C社という教科書会社がありました。現在は、A社の名で社会科に限らず他のいくつかの教科においても発行されています。
- 委員
委員 社会科は資料が多いのでスペースを広く使えないと思います。
A社は、B社と比べて大きくて見やすいと思います。ページ数は少ないですが、内容的に少ないということはありませんか。
- 事務局 分量については、5年生の上巻B社118ページ（国土について60ページ、農業水産業で58ページ）です。A社上巻104ページ（国土について44ページ、農業水産業については60ページ）です。14ページ少ないですが、A社はグラフ等、B社に比べると大きくはっきりと示しています。B社は写真が非常に大きいです。学習のまとめについては見開き1ページで、ページが少ない割にはきちんと学習内容を押さえているのがA社の特徴です。例えば96、97ページの日本の食糧生産についてのまとめのところですが、「ふりかえてみよう」というページで1ページ割いています。逆にB社は118、119ページ食糧生産のまとめのページでのまとめ方について、子どもへの提示の仕方が随分違います。
- 委員 例えばA社の14、15ページ、B社の38、40、41ページのところで、季節風とか台風の学習がありますが、見出しが大きいオレンジの線が引いてあります。どこを読めばよいか分かりやすいです。見やすい使いやすい設定になっています。
全体的に重要な語句は濃い字で太字になっています。例えば15ページの季節風という言葉が大きい太字になっています。B社には見られません。A社が、子ども達が学習していく上で学習しやすいのではないのでしょうか。
- 委員 ページ数は少ないが、見やすいですね。学習指導要領の内容がないということはありません。
- 委員長 「社会」につきまして、第1推薦A社を採択することにご異議ありませんか。
異議なしと認め、「社会」についてはA社を採択することに決定しました。

— 地図 —

- 事務局 <答申を基に、教科書を手にしながら説明をする。>

【質疑意見】

- 事務局 A社では、安芸高田市6町名が入っています。B社は、3町名のみの取り扱いです。
委員 確かに、安芸高田市の子ども達にとっては、町名が全部入っている方がつかいやすいですね。
- 委員 たくさんの教科書会社が発行していますが、地図帳については2社の発行です。
委員 地図の縮尺は、どうなっていますか。
- 事務局 地図の縮尺については、2社とも日本全図1/4,000,000、各地方図1/1,000,000です。北海道においては、B社1/1,600,000、A社1/2,000,000。首都圏については、B社1/50,000、A社が1/100,000です。

【採決】

委員長 「地図」につきまして、第1推薦A社を採択することにご異議ございませんか。
異議なしと認め、「地図」についてはA社を採択することに決定しました。

— 算数 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

委員 現在使用の発行者はどこですか。

事務局 現在、A社です。

委員 上下合わせて一冊にしたというのは、B社以外にもありますか。

事務局 数社あります。かなりずっしりくる感じがします。

委員 調査員からは、高学年とは言えどもランドセルが重くなるのではないかという意見と、あまりにも一気に見せられたら算数の好きな子はいいけど、苦手な子は、意欲が下がるのではないかと。内容の本質論ではないですが、こういう意見もありました。

委員 「マイノートを作ろう」というのは、どういうものですか。

事務局 A社、下の26、27ページのところです。特設のページの「マイノートを作ろう」は、A社の特色です。実際の子どものノートを上手く例示して、書き方の工夫、書くときの良い項目、あるいは、感想の視点等が明確に表記してあります。子どもにとってもノートづくりのイメージが描きやすいです。また、自分のノートづくりに活用できるという調査員からの報告を受けています。

委員 数社の教科書を絞り込む段階では、どのような方法で絞りこんだのですか。

事務局 基本方針に示した5つの観点について調査研究報告を受け、第3回選定委員会において、第1推薦、第2推薦の2発行者に絞っています。5つの観点で調査研究し、発行者それぞれの特色があるのですが、児童にも指導者にとっても効果的に活用できるものとなりました。児童がじっくり学ぶことができ、基礎的基本的な問題を活用し、日常生活とつながる問題も適切に配列してあるもの。それから、具体的にノートづくりをすすめやすいもの、あるいは、手がかりになる考え方等が吹き出しで、はっきりと分かりやすく示してあるもの、問題がしっかり囲みの中に書かれ、子ども達の目を引きやすいもの等、総合的にバランスがとれているA社が優れているという報告を受けています。

委員 A社、下77ページとか、ちょっと遊び心というか、一筆書きで難しいというイメージがありますが、そのようなところも扱っています。

委員 やはり、調査研究報告の中で指導者が使い慣れているというので、指導しやすいという判断もありました。また、A社の方は単元間にある「考えよう、伝えよう」というところで、図や式などサンプル的な表現を用いて書くなど、「説明しよう、話し合おう」等、現在広島県で力を入れている言語活動例が他に比べて充実している。という判断があったようです。

委員 今、言語活動に力を入れています。全教科でやらないといけません。算数科でもその点が配慮されている教科書を推薦していただいた。発行者によって若干違いはあ

りますが、平行四辺形の面積の求め方等にしても、似たような方法をとっています。「親しみやすさ、表現」、あるいは「マイノートを作ろう」という具体的に先生が授業の中で指導をしようと思ってもなかなか難しいものについて、教科書にも取り上げてあれば使いやすいかもしれません。

【採決】

委員長 「算数」につきまして、第1推薦のA社を採択することにご異議ありませんか。異議なしと認め、「算数」についてはA社を採択することに決定しました。

— 理科 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

委員 先程、説明していただいたA社166ページの図ですが、このスイッチか電球みたいなものは何ですか？

事務局 豆球ではなく、157ページを見ていただければ、おわかりいただけるかと思うのですが、エナメル線をくるくるっと回路の間にまわしたものがあります。巻き数を変えた実験時でも全体の長さが同じになるように、余った導線を丸めています。167ページの下図に絵でくるくるっと巻いてありますが、普段行っている実験に対応させた図です。

委員 別冊を作るというのは、教科書会社に任されていますか。

事務局 そうですね。

委員 理科は実験がより大きな内容となっていますが、別冊を見ると、プリント型にされています。小学校では活用されていますか。

事務局 当然プリントを使うこともあります。全て一から実験図を書かしていると、一時間の授業の中でしっかり時間を保障したい活動より、ノートに書く活動に時間の重きがいつてしまうことから、ワークシート等作って書き込みをさせる場合もあります。先程の別冊を見てください。いわゆる復習の問題のドリルではなくて、授業の学習の中での気づきであるとか、疑問点を書き込んでいくというかたちで、教科書と学習した内容との繋がり、学習の足跡が残せるという特徴があります。

166ページのところの電磁石の働きのまとめですが、ワークシート等にパソコンの文字ではなく、子どもの書いた手書き文字を使って、ノート記入例というかたちで示してあります。学習したことをどのようにノートで自分なりにまとめるかというものになっています。

委員 理科で研究されたものが大きく載っており、これを使えば子どもはわかりやすいですか。

委員 わかりやすいと思います。

委員 そうですね。写真とか絵があるのでわかりやすいと思います。

委員 先程エナメル線の余りを束ねてあるということですが、問題になるほどのことでは

ないと思いますが、ぐるっと回したら、そこも磁界ができますよね。磁石になりますよね。本当はそれが採択するしないの大きな理由や問題にはなりません、どう思いますか。B社 112 ページのところには、わざわざコイルだけで磁界をおこすという図があります。

事務局 今、コイルの導線が余ったところを巻いてあることについては、B社の 115 ページの写真のところ、巻いた図が 1 つございまして、これはいわゆる導線のもとの長さをそろえるという実験条件を同じにし、途中を切らないというなかで巻いているということです。

委員 磁石の強さを調べる精密な実験ならいけないかもしれません。

事務局 別の報告の中で、理科の実験道具であるとか色々なものづくりがありますが、A社が 39 のものづくりを設定しています。B社は、ものづくりの合計が 24 になります。また、A社は、写真資料がたくさん示してあります。

委員 人の感情という項目がありますが、この項目に焦点をあてて研究調査されていますか。

事務局 特にここに関わっての調査研究はありませんでした。

委員 調査としてまとめたというのはないということですか。

委員 調査研究の段階ではおそらく、議論には当然なっただと思いますが、報告では先程言われていたように 5 つの観点を中心をお願いしておりますので、具体的に調査研究報告書には出てこないということです。

委員 現在、A社を使っているのですか。

事務局 はい。

【採決】

委員長 「理科」につきまして、第 1 推薦の A 社を採択することにご異議ありませんか。異議なしと認め、「理科」については A 社を採択することに決定しました。

— 生活 —

事務局 < 答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。 >

【質疑意見】

委員 生活科は、1 年生、2 年生での 2 年間で上下を使っていくのですか。

事務局 はい。

委員 上が 1 年で、下が 1 年というわけではないですか。

事務局 そうです。

委員 現在は、どの会社を採択されているのですか。

事務局 現在は、A 社です。

委員 生活科と理科が同じ教科ではないが、学年でいえば 1、2 年は生活科で、3 年からは理科となりますが、教科書は別にそういうことでの配慮は必要ないですか。同じ発行者でつながれているということはないですか。

- 事務局 はい。
- 委員 上下になっているのですか。
- 事務局 今も上下です。
- 委員 1年生でも下を持ってきなさいということが、学年の途中からあるということですか。
- 事務局 活動によってはそういう場合もあると思います。
- 委員 採択理由のところ、キャリア教育の視点を踏まえており、扱っている動物・植物や働く人の場所が多く示されているとありますが、私が見た感じでは、A社の方は、写真が多く、B社の方は、イラストが多いです。A社の方が児童は使いやすいと思います。
- 事務局 調査員の報告にも、実際に商店、駅、図書館で働く人、児童館で働く人、あるいは施設を利用する人、安全パトロールの人、交番で働く人、子ども110番のお家の人、消防団とか多くの働く人等、子どもたちが関わる働く人の様子を、写真で掲載している場面がやはり非常に多いので、とてもイメージがわかりやすいし、子ども達に具体的に示しやすいと報告を受けています。
- 委員 安芸高田市も自然や人への関わりなど、より実態に合う使いやすい方がよいと思います。B社では、「電車やバスで出かけよう」のところ、広電バス（広島駅行）が載せてありますが、実際、安芸高田市内をバスで探検するような活動は難しく、教科書の活用が難しいと思います。
- 委員 どの程度、先生方は教科書を活用しているのですか。
- 委員 直接、低学年を担当したことはないのですが、先程委員も言われましたように、やはり地域の実態に合わせて出かけるということが多く、特に地域の探検が多いようです。ご存じのように生活科は、理科的な学習だけでなく社会的な学習も総合的に学びますので、そういう面では、教科書を使っての学習もしています。Y小学校の低学年では、いわゆる保育所、幼稚園との連携を通して生活科の学習を行う工夫をしていました。
- 委員 今のように生活科は、理科的、社会的な学習内容に明確にはならない教科です。だから色々活動を工夫するにあたって、教科書が使いやすい内容になっています。

【採決】

- 委員長 「生活」につきまして、第1推薦のA社を採択することに、ご異議ございませんか。異議なしと認め、「生活」についてはA社を採択することに決定しました。

— 音楽 —

- 事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

- 事務局 音づくりを通して、その曲を楽しむという活動について、B社は、1年生3年生で1つ、2年生で3つ、4、5、6年生で2つ、音楽づくりの題材を取り扱っています。

一方A社は、1年生で3つ、2年生で5つ、3、4年生で4つ、5、6年生で2つが題材として設定され、A社の方がたくさん題材を設定しています。

委員 日本楽器や昔からある楽器を取り上げて今も学習をするようですが、そのとりあげ方、あるいは、子ども達に伝えたい歌の取りあげ方は両発行者とも同じですか。

事務局 2社を比べてみますと、どちらも祭りとか日本の風景（四季）がイメージしやすいように、写真等もたくさん掲載しています。4年生の教科書では、B社 35—37 ページに、日本の祭りの写真が掲載してあります。A社ですが、同じ4年生 68、69 ページに郷土の民謡、34、35 ページに紅葉など、取り上げているという調査報告を受けています。また、A社は、さくらさくらを 50、51 ページに楽譜と写真がセットになって掲載されています。

委員 今は、A社を使っているのですか。

事務局 はい。

委員 そのほか、質疑・意見等はありませんか。

【採決】

委員 「音楽」につきまして、第1推薦のA社を採択することにご異議ございませんか。異議なしと認め、「音楽」についてはA社を採択することに決定しました。

— 図画工作 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながら説明をする。>

【質疑意見】

委員 B社の表現が分かりづらいとあったところをもう一度説明してください。

事務局 B社は、各題材の目標を3種類のマークで示してあります。具体は、5ページ、目次の下に、図画工作で大切にしたいこととして、3つのマークがあります。「試したり見つけたり考えたりして思いつく力」、「形や色、方法や材料を工夫する力」、「心を開いて楽しく活動し友だちと関わり協力しあう力」という観点が示されています。先程の絵の具の題材8ページ上のところに手を取りあったマークが入っています。この題材では、「心を開いて楽しく活動し友だちと関わり協力しあう力」を求めている題材であるということになるのですが、目標を「楽しく活動する」ということと、「友だちと関わる」ということと、「協力する」という3つのことが入っているということで、子どもにとってもこの活動でどういう力をつければいいのかということが分かりにくい。また、指導者にとっても分かりにくいと報告を受けました。

委員 本の大きさでは、B社のほうが若干大きいです。ページ数はB社 45 ページ、A社 57 ページです。内容的にはA社の方が、写真とか中身が充実しています。A社が児童にとって活用しやすいと思います。

委員 現在はどの発行者を使っていますか。

事務局 現在は、A社を使っています。

委員 学習指導要領は変更していないので、教科書の内容が大きくは変わってはいません。

事務局 現在使っているA社は、例として10ページ、題材の左上の所に絵で表現する題材であると、左上に大きく書いてあります。その後、黒板の小黒板のメモのようなものに、「どういう活動をするのか」と、めあてが4つほど明確にどこの單元においても示されています。この題材を通してどのような学習活動を仕組んでいくことが必要なのかということが、指導者にとっても分かりやすく示してあると報告を受けています。

委員 A社の方がワークの意味がよく分かります。

【採決】

委員長 「図画工作」につきまして、第1推薦のA社を採決することに異議ございませんか。異議なしと認め、「図画工作」はA社を採択することに決定しました。

— 家庭 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

事務局 ご飯を炊くところの学習では、A社31ページに片付けの項目が明確に絵で示してあるのに対し、B社は、「言葉では水に漬けておくと洗いやすい」と言葉だけの記述になっています。次に、日本伝統の味噌汁の作り方では、A社33ページの中ほどに明確に「片付ける」という項目がある一方、B社は、片付けに関する記述がありません。A社は一連の一つの活動の中に、きちんと片付けまで取り上げ、子どもに指導するという視点が明確に示してあるという特徴をもっています。

委員 今はどちらを使用しているか。

事務局 現在は、A社です。

【採決】

委員長 「家庭」につきまして、第1推薦のA社を採択することにご異議ございませんか。異議なしと認め、「家庭」についてはA社を採択することに決定しました。

— 保健 —

事務局 <答申を基に、教科書を手にしながらか説明をする。>

【質疑意見】

委員 教科書の大きさが違いますが、小さいからといって、特に使いにくいことはないですか。

事務局 調査員の方からは、逆に教科書サイズのB5版より少し横幅が広がっているの

A社が使いやすいと報告がありました。B社は、A4版で大きく、その分絵や統計資料等が大きいです。学習場面での使い勝手と言えば、教科書サイズの方が使いやすいという報告を受けています。

委員 調査、研究の段階でも大きさ、中身についてもA社の方が使いやすいという報告がされているのですね。

事務局 そうです。

【採決】

委員長 「保健」につきまして、第1推薦のA社を採択することにご異議ございませんか。異議なしと認め、「保健」についてはA社を採択することに決定しました。

以上で全種目の教科書採択を終了いたしました。